



出初式

新春彩る晴れ姿



成人式



新春の最初を飾る市消防出初式は、1月6日、恵那文化センターで行われました。
 伝統の「恵那トビはしご登り」は10基中、3基が演技を披露。高さ約6mのはしごに、選抜された6人の隊員が素早く駆け上がった。妙技を展開し、場内から歓声が上がりました。また今回初となる「2人乗り」が披露され、隊員の大技に盛大な拍手が送られました。



中学時代、みんなで一緒に取り組んだ合唱を新成人は当時を思い出しながら披露。月日は流れても皆さんのチームワークは今も健在でした。(岩村公民館)



参加者が約460人と、市内では一番多い恵那文化センター会場では、たんぼぼ作業所の祝い太鼓、ビデオレターなどが上映されました。式典の後には、5組に分かれて記念写真を撮影しました(写真)。(恵那文化センター)

1月7日、雪の降りしきる中、2回目となる成人式が市内6会場で行われ、新成人約730人が参加しました。
 式典は、各地域の実行委員会が企画し、思い出をたどるスライドやビデオの上映、中学生のときにみんなで取り組んだ合唱、タイムカプセル開封、太鼓演奏、コンサートなどの行事が行われました。市からは記念品の図書カードの贈呈や記念写真の撮影を行いました。

新成人の代表が、中学2年生の時に書いた未来の自分への手紙を読み上げると、當時を思い出し和やかな表情が見られました。(山岡公民館)



参加者が少ないこともあり、家族的な雰囲気の中で開催されました。中学時代の恩師から思い出の曲が紹介されると、皆さんの顔が輝きました。(サンホールくしはら)



大人の仲間入りをした新成人が、誓いの言葉を読み上げました。
 この後、思い出のビデオレターをみんなで鑑賞しました。(上矢作公民館)



記念コンサートには、一般の皆さんも入場し、演奏を楽しんだ後、新成人が合唱を披露しました。(明智かえでホール)